

群馬県内におけるアライグマ、ハクビシンの生態と分布について

群馬県立自然史博物館
群馬県自然環境課

● ハクビシン

1. ハクビシンの分布の変遷



1982-1992年に確認された地点
(権澤(1998)より作成)



1990-1997年に新たに発見された地点
(権澤(1998)より作成)



現在の分布
(2007年度狩猟, 2008年度有害捕獲データより作成)

2. 群馬県内におけるハクビシンの繁殖状況

2007年4月から2009年2月末までに56体を剖検した。この内メスは23体であり、胎盤痕が確認された個体は6体、胎盤痕数は1~4であった。右の写真は妊娠初期のハクビシンVM08-91の子宮。



● アライグマ

1. アライグマの分布の変遷



1992, 1997年に確認された地点

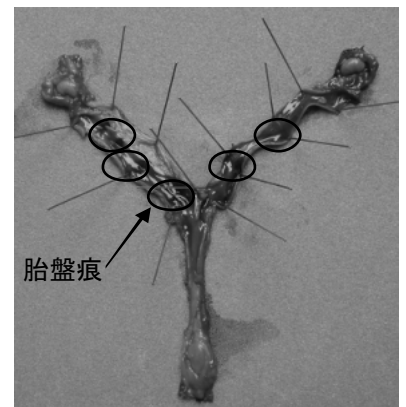


2000-2008年に確認された地点

2. 群馬県内におけるアライグマの繁殖状況

2006年4月から2009年2月末までに70体を剖検した。この内メスは30体であり、胎盤痕が確認されたのは11体で、胎盤痕数は1~6であった。

右の写真はVM07-65の子宮にみられた胎盤痕。



©Dr. Lloyd Ingles @California Academy of Sciences